

Action		Plan	
学校・園の現状・実態		めざす学校像・子ども像・教員像	
<p>(1) 中央区と南区にまたがる3小学校区より成り立ち、777名の生徒が通学している。近年西高宮小学校の児童数の増加に伴い、年々生徒数の増加が見込まれる。</p> <p>(2) 地域や保護者は、教育に対する関心が高く、学校教育に対して熱心に見守り協力的である。</p> <p>(3) 落ち着いた学校生活を送る生徒が多く、授業や部活動、学校行事に意欲的に取り組む生徒が多い。</p> <p>(4) 様々な家庭環境の中、これまで取組を勧めているが、経済的、精神的な支えを必要とする家庭や生徒が増えてきていることや、不登校、不登校傾向の生徒への支援を擁する生徒が増えてきている。</p> <p>(5) 生徒の学力分布は二極化しており、低学力の生徒に対して基礎学力を身につけさせることが急務である。</p> <p>(6) 学校課題に対し、職員が丸となり取り組む意識や意欲が高く、チームとして取り組む体制がある。</p>		<p>1 めざす学校像 子供たちが「通いたくなる学校」、保護者地域が「通わせたい学校」、教職員が「働きたい学校」</p> <p>2 めざす子ども像 高宮中学校とその地域を愛し、誇りと自信を持ち、自ら考え、自ら進んで学習や行事の活動に取り組み、向上心と志を大切に成長しようと努力し続ける生徒</p> <p>3 めざす教員像 公務員として自覚と高い倫理観、教育者としての情熱と強い使命感を持つ集団</p>	
		重点目標	指標(取組指標・成果指標)
		<p>「学ぶ楽しさをはぐくみ、思考力や表現力を高める学習指導のあり方」の実践と学力の二極化解消に向けた取組を実践する</p>	<p>国語、数学、社会、理科、英語科で基礎学力向上を図る取組を朝帯時間を実施し、学力の二極化の解消に総合的な学習の時間について、夏季休業中に各学年体験活動を実施し、きめ細やかに生徒の活動を支援す</p> <p>「学び合い」学習などのアクティブラーニングの研究授業の公開や研究授業の視察を年間1回以上行う。</p> <p>視聴覚機器を活用し、生徒に視覚的にもわかりやすい授業を学期に1回以上取り組む。</p>
			<p>不登校生徒の減少といじめ防止に向けた取組を実践する</p>
課題	今後の改善方策		
<p>・自分の意見をきちんと述べられる生徒が少なく、他の意見を参考に考えを深めることが課題である。</p> <p>・学力の二教科が進</p>	<p>・「学ぶ楽しさをはぐくみ、思考力や表現力を高める学習指導のあり方」について、教員相互の授業実践の公開を行い、授業力の向上の改善をすすめる。</p> <p>・チャレンジタイム(帯時間)を活用</p>		
<p>・不登校対応教員を核としたSC、SSW等と連携した組織的な支援体制の構築が課題である。</p>	<p>・生徒が来室しやすいステップルームの環境整備をすすめる。</p> <p>・地域、行政など連携したネットワーク会議を構築し、きめ細やかな支援体制をすすめる。</p>		
<p>・生徒に企画力、実践力があるが、活躍できる場面が少なく、生徒の意欲や実践力を高めることが課題である。</p>	<p>・生き生きとした自治活動ができる生徒の育成をすすめる。</p>	<p>生き生きとした自治活動のできる生徒を育成する取り組みを実践する</p>	